



呉中だより



「読書活動」のすすめ

教頭 尾畑 真紀

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」という言葉がありますが、3学期に入り、時間があっという間に過ぎていきます。3年生の教室には卒業までのカウントダウンカレンダーが掲示され、中学校を巣立つ日が近付いてきていることを実感します。現在、中学校卒業後に進む「道」について各々が真剣に考え、決断し、その実現に向けて努力を続けています。また、2年生は「最上級生」に、1年生は「先輩」になる時が近付いています。「平和学習」や「13歳の学び」等の活動を通して、新しい気付きをしたり、考えを深めたりしていることが、その表情や感想文から伝わってきます。「3学期」は「次年度の0学期」とも言われますが、生徒たちは今後、それぞれの新しい生活のスタートを思い描きながら、期待と不安の日々が続くと思います。厳しい冬の寒さを経験することで、春の訪れの暖かさや喜びを真に味わえると信じて、一歩ずつ前に進んでくれることを願っています。

さて、皆さんは月に何冊くらい本を読みますか。私は幼い頃からほとんど読書をしない子供でした。漫画を読んだり、テレビを見たりすることは好きでしたが、活字を読むことそのものが苦手でした。そんな私も大学に進学して、専門書を含むたくさんの本を読まざるを得ない環境に身を置いたことをきっかけに、これまで手にしたことがなかった長編小説等の書籍にも関心をもち、読書をするようになりました。「活字嫌い」を克服して、読むスピードも速くなり、移動や待ち時間は、私の読書タイムになりました。「小学校から高校までの期間にもっと本を手に取り、読書の魅力に気付いていたらよかった」という後悔もあります。全国規模のある調査によると、小学校から高校までの児童生徒の9割前後が「本を読むことは大切である」と認識しているそうです。それにもかかわらず1か月に1冊も本を読まなかった児童生徒の割合は小学校から中学校、高校と進むにつれて高くなっており、子供のみならず大人にも「読書離れ」の傾向が認められるそうです。「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第2条には「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」とあります。情報化社会の進展により、自分でものを考えずに断片的な情報を受け取るだけの受け身の姿勢を人々にもたらしやすいとも言われている中、読書活動の必要性を感じます。今年度は、教育後援会からご支援を賜り、本校図書室の環境充実を図りました。私たち大人が、これまでに出会った本について紹介したり、読書をする姿を見せたりする機会を大切にしたいと思います。生徒たちが、読書活動を通して、一生の財産として“生きる力”を身に付けてくれることを願っています。

図書館司書おすすめの本 50選

新春特別企画として図書館司書の先生が、生徒の皆さんに読んでほしい「おすすめ本50冊」を選びました。おすすめ本を読み終えた生徒が、続々と校長室を訪れ、感想を伝えています。生徒の感想は、学校ホームページで紹介しています。



1月 8日（木） 書き初め大会

始業式後、書き初め大会を行いました。

1年生は、「伝統芸能」
2年生は、「文学の地」
3年生は、「初志貫徹」
を題字として取り組みました。



1月20日（火）・2月3日（火） 1・2年生「性教育講話」

産婦人科医の先生にお越し
いただき、各学年ごとに実態
に合った性に関するお話をし
ていただきました。新たに学
ぶことが多く、生徒は真剣に
お話を聞いていました。



1月22日(木) 1年生「13歳の学び」



〔保育教諭の方〕



〔看護師の方〕



〔楽器販売・修理の方〕

様々な職業の第一線で
働く方々をお招きして、
体験談をグループごとに
聞きました。

将来の進路を選択をす
る際、今回の授業で学ん
だことを生かしてほしい
ものです。

令和7年度末 行事予定

【2月】

6日(金) 新入生説明会
9日(月) 県立高校推薦選抜
代議員会・専門委員会
10日(火) 学校運営協議会
11日(水) 建国記念の日
県小・中・高書初大会
16日(月)・17日(火) 3年進路相談会
18日(水)～20日(金) 学年末考査
(3年は19日まで)
23日(月) 天皇誕生日

【3月】

5日(木)・6日(金) 県立高校一般選抜
5日(木) 2年先輩に学ぶ会
10日(火) 県立高校一般選抜追検査
11日(水) 同窓会入会式
PTA 卒業記念品授与式
12日(木) 卒業証書授与式
13日(金) 県立高校合格発表
20日(金) 春分の日
24日(火) 修了式

地域の方が、定期的季節のお
花を生徒玄関に生けてくださ
います。
いつもありがとうございます。



令和7年度 学校評価結果と考察

2学期学校評価アンケート結果 (1:よく当てはまる 2:ほぼ当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:まったく当てはまらない)

保護者アンケート内容		○90%以上 ×60%未満				2学期全体				
		全体1+2の%				1	2	3	4	
		R6.7	R6.12	R7.7	R7.12					
子供に関する	1 お子さんは、学校に毎日楽しく通っている。	91%	87%	93%	92%	46%	46%	7%	1%	
	2 お子さんは、家での学習習慣が身に付いてきている。	57%	61%	56%	60%	19%	41%	26%	14%	
	3 お子さんは、読書好きで楽しく本を読んでいる。	34%	31%	40%	28%	×	12%	16%	32%	40%
学校に関する	4 学校は、確かな学力を育てるため、授業を工夫している。	81%	80%	78%	78%	16%	62%	20%	2%	
	5 学校は、子供の能力・努力を適切に評価している。	88%	90%	90%	90%	○	17%	73%	10%	0%
	6 学校は、子供の間違っただけの行為等に適切に対処・指導している。	92%	91%	93%	90%	○	25%	65%	9%	1%
	7 学校は、子供にとって気軽に相談できる場所になっており、適切に対処している。	82%	75%	77%	75%	19%	56%	23%	2%	
	8 学校は、子供の生き方や進路に関わる教育活動や情報提供をしっかりと行っている。	90%	83%	84%	82%	22%	60%	17%	1%	
	9 学校は、子供の安全・安心に努め、事故等には適切に対処している。	95%	95%	95%	92%	○	36%	56%	7%	1%
	10 学校は、学校行事が充実した活動になるよう工夫している。	93%	88%	88%	83%	24%	59%	14%	3%	
	11 部活動では、適切な指導のもとに、心身の健全な成長が図られている。	85%	81%	81%	73%	23%	50%	19%	8%	
	12 学校は、ICT機器やデジタルメディア等の有用性や危険性について適切に指導している。	88%	86%	84%	85%	21%	64%	14%	1%	
家庭に関する	13 学校の目指す学校像や生徒像、特色ある教育活動について理解している。(各種便りやホームページ、懇談会、PTA総会等で)	84%	82%	82%	82%	16%	66%	17%	1%	
	14 学校のホームページは充実しており、閲覧している。	76%	78%	72%	75%	26%	49%	20%	5%	
	15 子供の悩みや願い等はよく理解し、相談にも乗っている。	87%	90%	88%	85%	24%	61%	14%	1%	
	16 学校行事やPTA活動には積極的に参加している。	75%	76%	67%	67%	14%	53%	30%	3%	
	17 「呉中校区ネット安心安全宣言」の趣旨を理解し、子供のメディア環境を適切に管理している。	72%	65%	67%	65%	14%	51%	32%	3%	

令和7年度12月実施

2学期学校評価アンケート結果 (1:よく当てはまる 2:ほぼ当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:まったく当てはまらない)

生徒アンケート内容		○90%以上 ×60%未満				2学期全体				
		全体1+2の%				1	2	3	4	
		R6.7	R6.12	R7.7	R7.12					
学校生活について	1 学校へ来るのが楽しい。	90%	92%	93%	91%	○	57%	34%	5%	4%
	2 自分から進んで笑顔であいさつをしている。	91%	88%	87%	87%	45%	42%	10%	3%	
	3 昨年より読書量が増えた。	34%	31%	33%	31%	×	15%	16%	30%	39%
	4 学校では気軽に話せる友達がいる。	97%	97%	98%	96%	○	82%	14%	3%	1%
	5 学校行事に有意義に取り組むことができた。	85%	85%	81%	83%	57%	26%	12%	5%	
	6 教室や特別教室等の清掃活動はきちんと行っている。	96%	94%	95%	92%	○	58%	34%	7%	1%
	7 地震や火災等、災害が起こった場合、校舎内外でどうすればよいか知っている。	93%	94%	94%	91%	○	58%	33%	8%	1%
	8 部活動は自分を向上させてくれるものである。	90%	88%	92%	90%	○	62%	28%	5%	5%
学習・授業について	9 授業で「分かった」、「できた」と思うことが増えた。	91%	87%	90%	87%	49%	38%	11%	2%	
	10 教え方にいろいろと工夫している先生が多い。	94%	91%	93%	91%	○	51%	40%	8%	1%
	11 授業で分からないことがあったら、先生に質問しやすい。	77%	75%	78%	79%	35%	44%	17%	4%	
	12 学習の場面で努力したことを、評価されたりほめられたりする。	80%	78%	79%	77%	34%	43%	18%	5%	
	13 授業の準備をして、ベル前に着席している。	94%	88%	94%	93%	○	58%	35%	5%	2%
	14 授業の挨拶は、椅子を入れて行き、「着席」の号令で座っている。	91%	91%	93%	92%	○	67%	25%	6%	2%
	15 発表する時は立って発言し、聞く時には発表している人の方を向いて聞いている。	89%	88%	88%	87%	42%	45%	11%	2%	
	16 ペアやグループ等の活動を通して、友達と関わり合って学習をしている。(例:分からないことを質問する。友達に教えてあげる。自分の考えを言う。など)	93%	93%	91%	91%	○	58%	33%	7%	2%
	17 学ぶことが楽しいと感じることがある。	81%	78%	83%	81%	36%	45%	14%	5%	
	18 毎日、家庭学習に取り組んでいる。	62%	66%	63%	65%	28%	37%	27%	8%	
教育相談	19 自分の気持ちを話せる先生がいる。	77%	78%	76%	79%	38%	41%	17%	4%	
	20 質問教室や分からないところがあった時に、ていねいに教えてもらえる。	91%	87%	91%	89%	47%	42%	9%	2%	
	21 先生から進路や将来のことなどに関する情報をよく知らせてもらえる。	80%	85%	73%	85%	43%	42%	14%	1%	
	22 先生はいじめや暴力的なことがあった場合に、敏感に気付いてくれる。	82%	81%	83%	84%	41%	43%	12%	4%	
	23 先生は、生徒の意見に耳を傾けている。	93%	92%	92%	92%	○	52%	40%	7%	1%
思いやり	24 人の気持ちを考えて行動し、人が嫌がることをせず、親切な行動ができた。	93%	92%	93%	93%	○	53%	40%	6%	1%
	25 進んでゴミを拾うなどのよい行いができた。	77%	71%	71%	74%	30%	44%	21%	5%	
	26 人の仕事を手伝ったり、ボランティア活動に進んで参加したりした。	70%	66%	69%	71%	37%	34%	22%	7%	

【全体的な結果から】

・生徒、保護者とも、概ね満足のいく結果となっています。今後とも学校・家庭・地域で連携しながら生徒の育成を図っていきます。

【保護者アンケートの結果から】

・子供に関することでは、昨年度同様、家庭学習と読書の項目の評価が低くなっています。授業はもとより、「図書だより」の発行や学習委員会からの呼びかけ等により、家庭学習の定着や本を読む機会が増えるように、今後も学校全体として取り組んでいきます。

・学校生活の面では、部活動の面での評価が下がってはいますが、子供の評価・生徒指導・安全指導が高い水準にあり、満足のいく結果となっています。引き続き、生徒一人一人の声に耳を傾けながら、実態に合った柔軟な指導を続けていきます。

・生徒のよさや頑張り、学校の指導方針を継続的に発信していくために、ホームページの内容を工夫し、更新頻度を高めていけば、家庭や地域との連携が一層深まっていくと考えています。

・持続可能なPTA活動やメディアの活用方法等を、今後も家庭や地域と連携し模索しながら進めていく必要があると思われます。

【生徒アンケートの結果から】

・学校生活の面では、重点的に取り組んでいる「自分から進んで笑顔であいさつをしている」生徒の割合が思うように伸びていません。挨拶は相互理解や円滑なコミュニケーション等、人間関係づくりにつながるため、地域と連携しながら、教職員・生徒共に挨拶に対する集団としての意識を高めていく必要があると思われます。

・読書に関しては、保護者同様、厳しい評価となっています。機会を見つけては、読書の有用性を生徒に語りかけていきます。

・学習・授業に関しては、授業の進め方や姿勢の点で高い水準にあり、満足のいく結果となっています。今後は、授業の中で頑張っていることを褒めたり、評価に反映させたりすることが大切であると考えています。また、分からないことを質問しやすい雰囲気づくりに努めていきます。教職員一人一人がそれぞれの持ち味を生かしつつ、ベクトルをそろえていく必要があります。生徒の学習に対する意欲を高め、主体的な学びを続けることができる習慣が身に付けば、家庭学習に対する課題も解決できると思われます。

・教育相談に関しては、「先生から進路や将来のことなどに関する情報をよく知らせてもらえる」と感じている生徒の割合が大きく増加しています。他の質問項目にも通じることでありますが、学校全体で共通理解が図られ、挨拶をきっかけに生徒との対話を増やし、組織的に一人一人の生徒を見守っている姿勢が成果として現れてきています。

・思いやりに関しては、生徒会とPTAが連携した清掃活動の実施や、各学年で実施した人権週間の取組を通して、自発的に集団のために活動できる生徒の割合が増えています。今後も家庭や地域との連携はもとより、道徳の授業等で生徒の心を耕し、ホームページやたより等を通して、生徒のよさを継続的に発信していきます。